

「令和3年度 第3回 本明川水系流域治水協議会」 開催

本明川流域においては、近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」に取り組んでいるところです。第3回協議会では、流域治水にグリーンインフラの概念を取り入れ、流域治水プロジェクトについて取組内容の変更・追加および今年度の取組状況を確認しました。また、流域治水プロジェクトのフォローアップ資料について3月末の公表とすることを確認しました。

1. 概要

- ・日 時 : 令和4年2月14日(月)
- ・会 場 : Web方式
- ・出席者 : 諫早市、雲仙市、長崎県、長崎地方气象台、農林水産省 北部九州土地改良調査管理事務所、林野庁 長崎森林管理署、森林研究・整備機構 森林整備センター、長崎河川国道事務所



Web会議風景

2. 議事内容

- ①流域治水×グリーンインフラについて
- ②プロジェクト変更・追加進捗状況について
- ③流域治水プロジェクトフォローアップ公表資料(案)
- ④規約の改正について

本明川水系流域治水プロジェクト【位置図】

R4.2.14時点 暫定
～急流河川本明川の治水対策・急激な水位上昇から自ら身を守る防災・減災対策～

●グリーンインフラの取組み 『川と触れ合い、親しめる潤いのある水辺空間の整備』

▶ 本明川は、上流は果樹地の富川深谷があり自然深瀬や行楽に訪れる人々の憩いの場となっています。また中流は、取手市街地を流れ、水辺には河川公園や遊歩道が整備され、遊歩道や水遊び場などに利用され、沿川に民が親しまれています。下流は、松づつみや、自然干陸地ではフラワーステーション・クロスカントリコースが整備され、地域が主体となって水辺の賑わいの創出が行われています。

▶ 諫早市の「石神操習場を活かした諫早市活力創出行動計画」において、取手公園整備による新たな遊水空間の提供、本明川治水整備による回遊促進を具体的に組み込みとして設定しており、概ね今後の年度で天濤・永島地区でのかまちづくりをすすめるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

位置図

- 自然環境の保全・還元などの自然再生
湿地や草地の保全・創出(ピオトープ)、貴重種等の移植
- 治水対策における多自然川づくり
生物の多様な生育・生息・繁殖環境の保全
河川景観の保全
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
天濤・永島地区かまちづくり
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
民間協働による水質調査
小中学校などにおける環境学習

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

3. 要旨

- ・プロジェクトの変更・追加内容について、確認された。